

# 経営比較分析表（令和4年度決算）

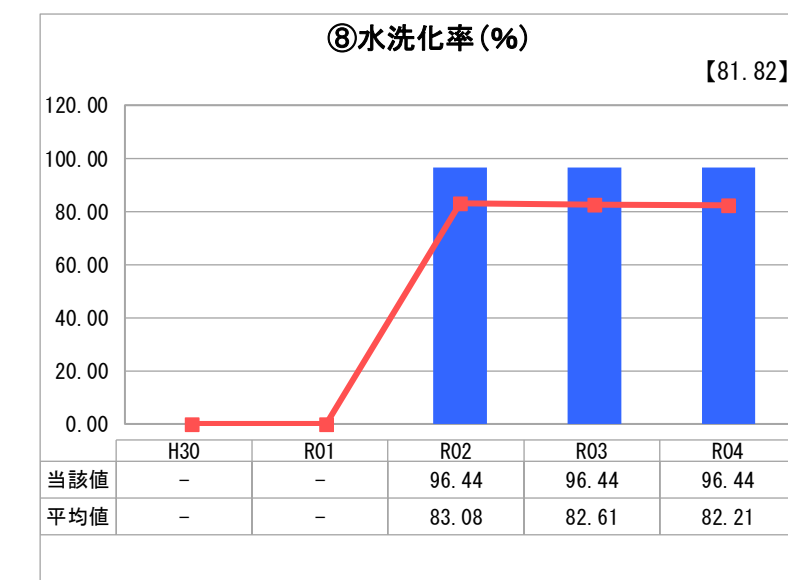
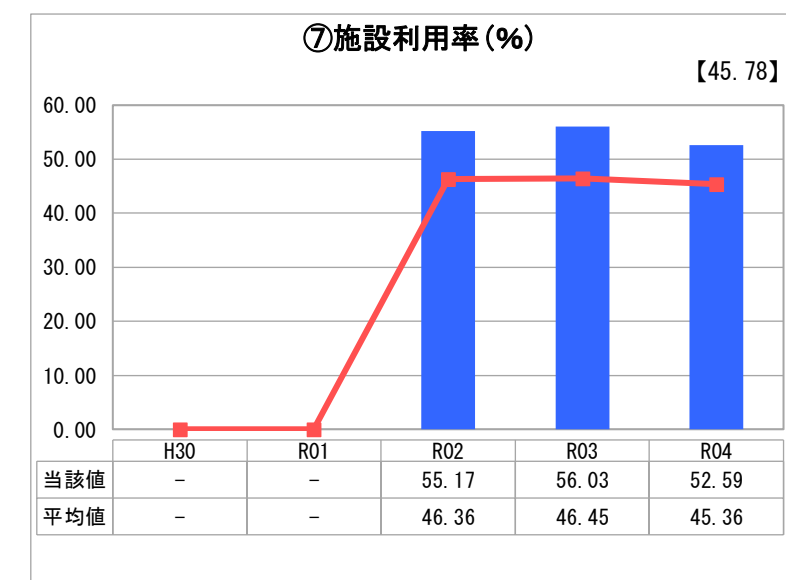
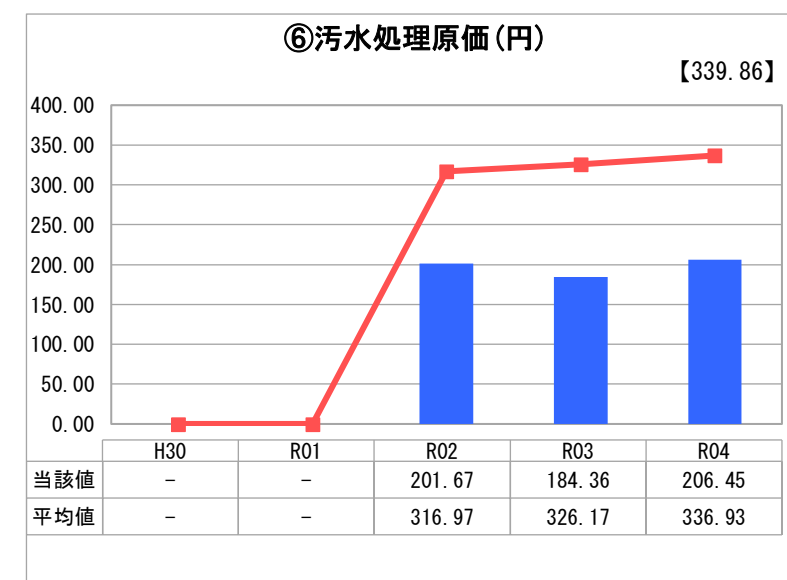
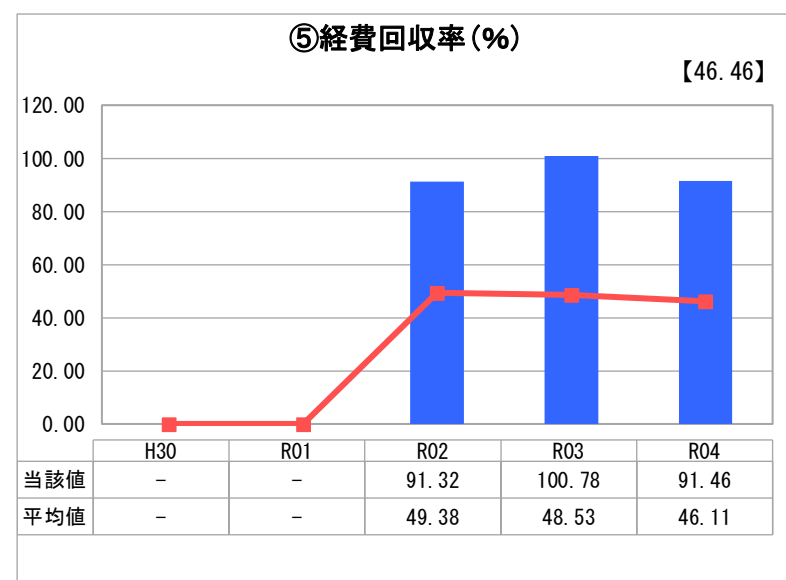
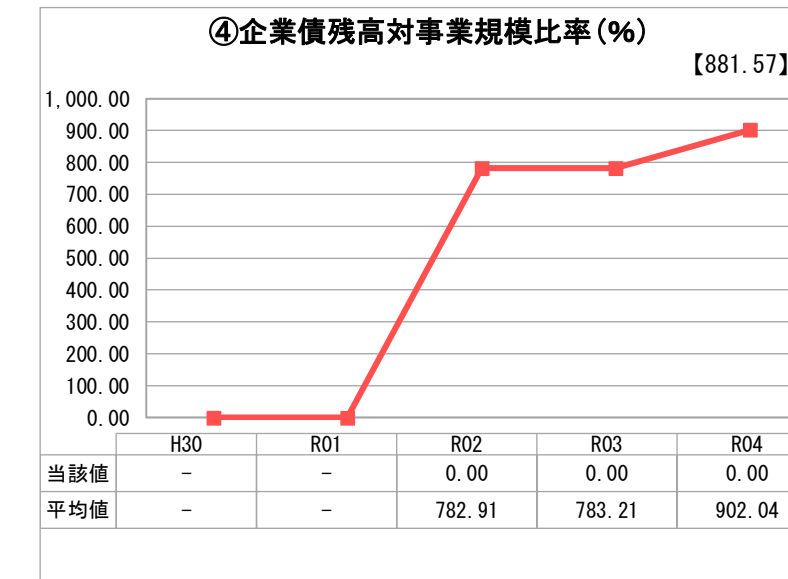
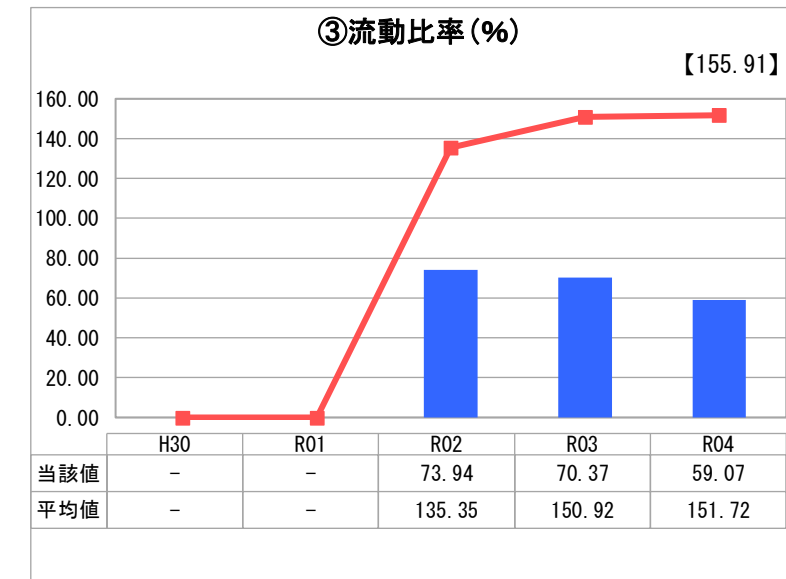
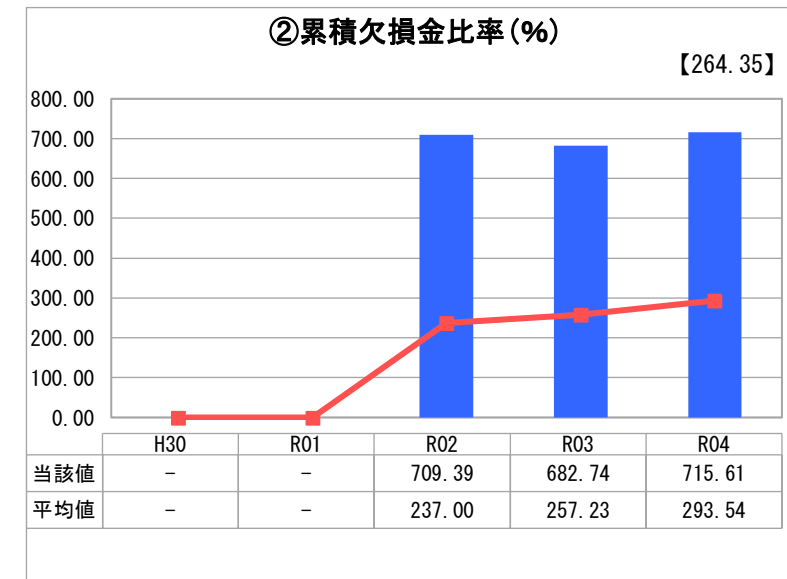
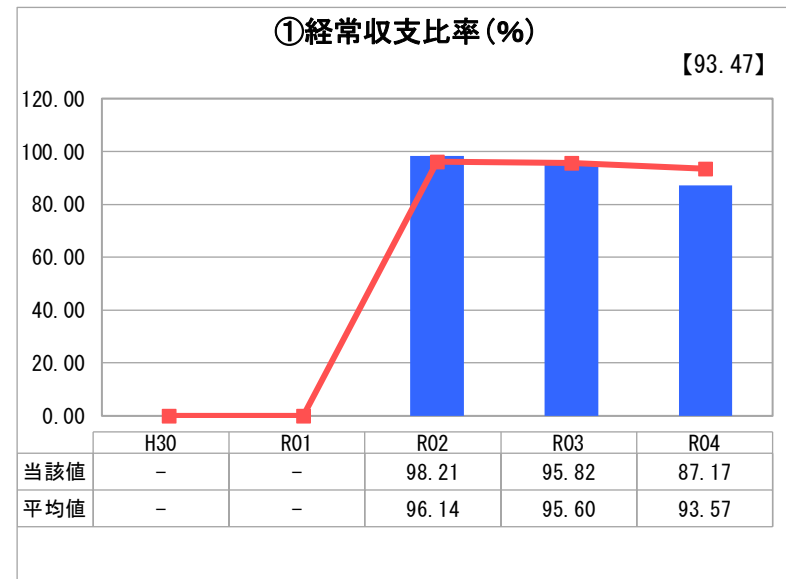
岐阜県 中津川市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	個別排水処理	L2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)
-	△163.90	0.30	100.00	3,740

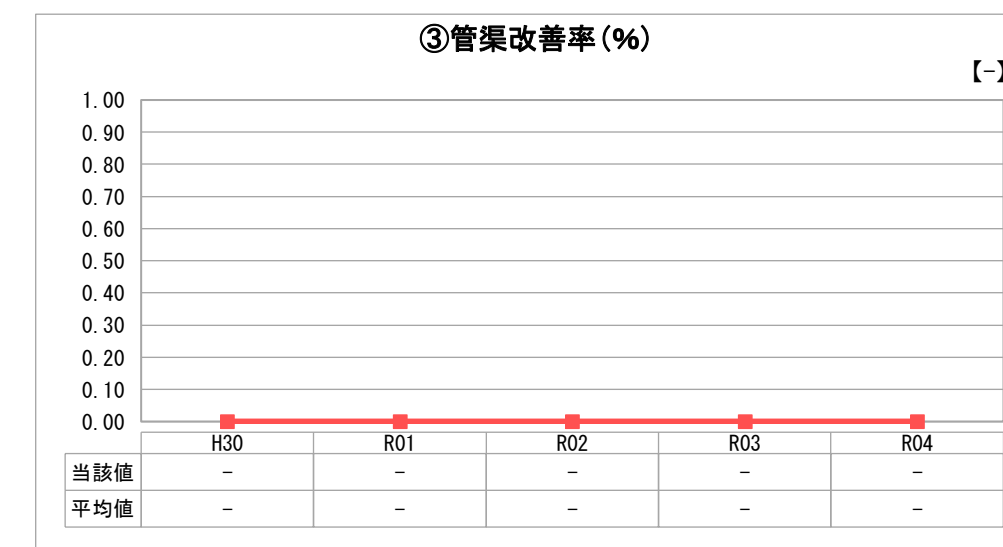
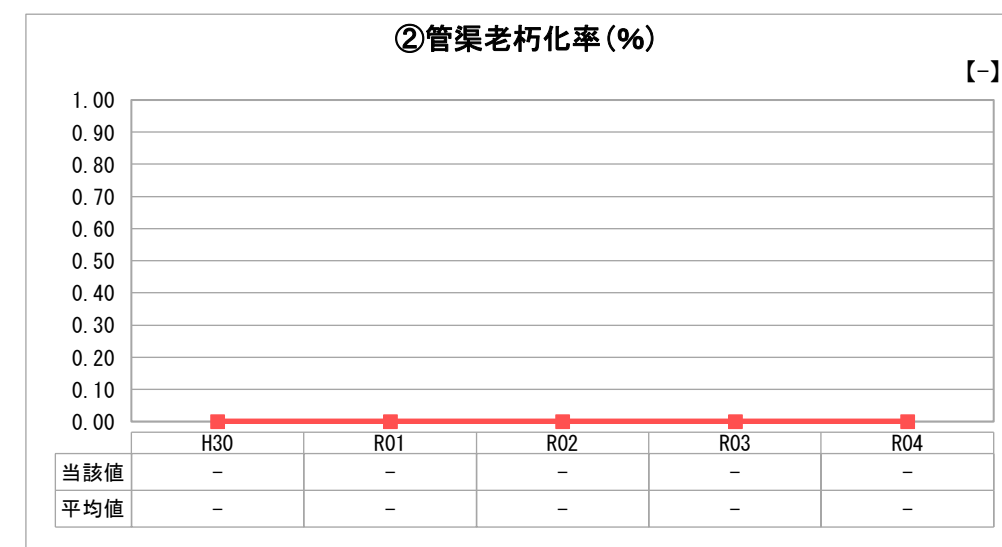
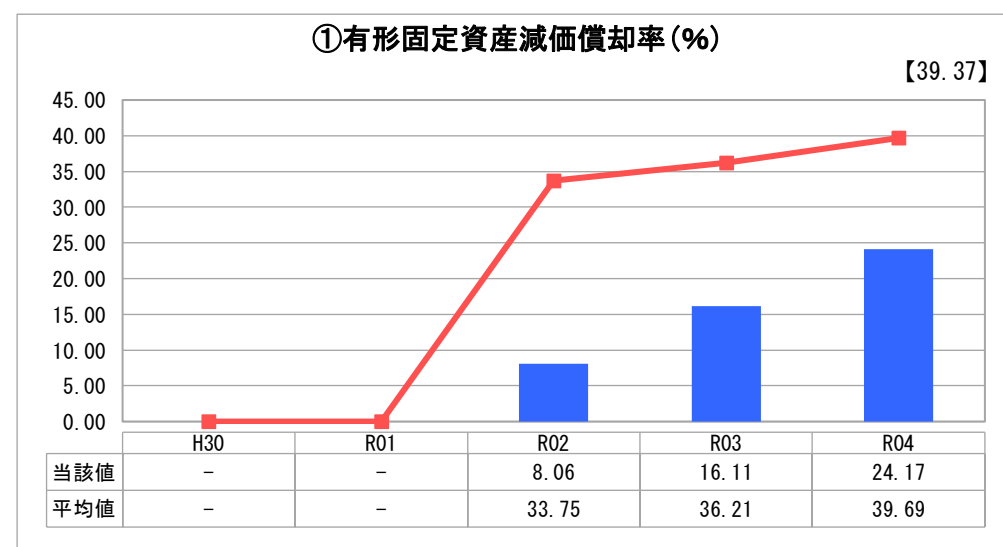
人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
75,401	676.45	111.47
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
225	0.05	4,500.00

グラフ凡例	
■	当該団体値（当該値）
—	類似団体平均値（平均値）
【	令和4年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

① 経常収支比率は、100%及び類似団体平均値を下回っています。令和4年度から開始した隔月検針への移行調整により約1か月分の使用料収入が減少したことが影響しています。処理区域内人口の低下など、経営環境は厳しくなることが予想されますが、経営基盤強化を図り、改善に努めます。

② 累積欠損金比率は、地方公営企業法の適用初年度に計上された一時的な損失と、前年度に生じた欠損金に加え、隔月検針の開始により使用料収入が減ったことによるものです。経常経費の縮減に努めるとともに、今後の経営のあり方について検討を進めます。

③ 流動比率は、100%及び類似団体平均値を下回っています。使用料収入の増加、経費削減により資金残高の維持に努める必要があります。

④ 企業債残高対事業規模比率は、一般会計からの繰入金により企業債を全額償還しているため、0%となります。企業債残高は順調に減少しています。

⑤ 経費回収率は、100%を下回りましたが類似団体平均値を上回っています。

⑥ 汚水処理原価は、類似団体平均値を下回っています。引き続き合併処理浄化槽の維持管理に係る経費削減に努めていきます。

⑦ 施設利用率は、類似団体平均を上回っています。

⑧ 水洗化率は、類似団体平均値を上回っていますが、水洗便所設置済人口の減少を処理区域内人口の減少が上回ることで増加してきています。人口減少が進んでおり、今後は水洗化率は微増することが予想されます。

### 2. 老朽化の状況について

① 有形固定資産減価償却率は、取得から経過した年数が短い資産が多く、類似団体平均値を下回っています。償却の進捗を把握し、今後の予測を立てると共に他の指標と合わせて分析を行います。

② 管渠老朽化率は、法定耐用年数を経過した管渠がないため、0%となります。管渠の更新時期はまだ到来していませんが、老朽化率の上昇に備えて、浄化槽の計画的な維持管理を図ります。

③ 管渠改善率は、施工した更新工事がないため0%となります。

### 全体総括

経営状況は安定していますが、一般会計からの繰入金に依存しています。適正な受益者負担を検討しつつ、将来の事業のあり方を検討する必要があります。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。